



平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月7日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社ダイイチ

コード番号 7643 URL <http://www.daiichi-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務兼企画IR担当

(氏名) 川瀬 豊秋

TEL 0155-38-3456

四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	17,914	3.7	627	26.9	618	28.2	376	22.9
26年9月期第2四半期	17,280	7.1	494	1.3	482	2.9	306	3.1

(注) 包括利益 27年9月期第2四半期 388百万円 (27.3%) 26年9月期第2四半期 305百万円 (△1.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	65.98	—
26年9月期第2四半期	53.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第2四半期	16,275	8,388	51.5	1,468.20
26年9月期	15,991	8,085	50.6	1,415.15

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 8,388百万円 26年9月期 8,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,762	3.7	1,083	3.4	1,050	2.6	651	3.6	113.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年9月期2Q	5,719,320 株	26年9月期	5,719,320 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年9月期2Q	5,946 株	26年9月期	5,946 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期2Q	5,713,374 株	26年9月期2Q	5,713,392 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策への期待による円安・株高基調が継続し、製造業を中心に生産と輸出が改善するなど、景気は緩やかな回復基調となりましたが、一方で円安による原材料価格の高騰、海外経済の先行き懸念などから、景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループ（当社及び連結子会社）を取り巻くスーパーマーケット業界は、実質賃金の減少による消費者の節約志向と低価格志向の継続、電力料金の値上げ、企業間の価格競争の激化などにより、厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境のもとで当社グループは、食品を中心に地域に密着したスーパーマーケットとして、お客様からの高い支持と信頼をいただけるよう、安心で安全な商品の提供に努めるとともに、お客様の要望にお応えする商品の提案、値ごろ感を重視した価格政策、従業員教育の充実によるサービスレベルの向上などにより、店舗における営業力の強化に取り組んでおります。

株式会社イトーヨーカ堂との業務提携につきましては、生鮮を中心とした、北海道エリアにおける同社との商品開発及び物流システムの構築、それによる高品質商品の追求とコスト削減を徹底し、お客様に満足していただける店作りに努めております。

お客様へのサービス向上策の一環として、平成26年10月より清田店（札幌ブロック）及び音更店（帯広ブロック）において、既に旭川ブロックにて稼動しているポイントカード「フレカ」を導入、平成27年2月より全店において、電子マネー「nanaco（ナナコ）」カードの利用が可能となり、併せてチャージ機を設置いたしました。

既存店強化策として、東旭川店（旭川ブロック）の売場の増床リニューアルを実施いたしました。また、省電力化の取り組みとして、啓北店（帯広ブロック）とオーケー店（帯広ブロック）において、LED照明への切り替え、及び空調設備・冷凍機の更新を行いました。

地域別の売上高につきましては、帯広ブロックは82億17百万円（前年同期比2.5%増）、旭川ブロックは54億30百万円（前年同期比2.2%増）、札幌ブロックは42億61百万円（前年同期比8.0%増）となりました。また、既存店売上高につきましては、消費税増税前の駆け込み需要の反動減が3月にありましたが、販売力の強化による競争力の向上とおお客様の視点に立った強い店作りの推進などにより、前年同期比1.0%増と順調に推移いたしました。

売上高総利益率につきましては、業種・業態を越えて価格競争が激化する中で、商品本部機能の見直しによる商品力の強化、ロスの削減と仕入の見直しなどにより、前年同期に比べ0.3ポイント改善し24.0%となりました。

引き続き当社グループは、同業他社のみならず異業種も念頭に据えた企業間競争に耐えうる強い企業体質の実現に取り組み、業容の拡大と更なる企業価値の向上に努めてまいります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は179億14百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は6億27百万円（前年同期比26.9%増）、経常利益は6億18百万円（前年同期比28.2%増）、四半期純利益は3億76百万円（前年同期比22.9%増）となり、各数値は前年同期に比べ増加いたしました。また、1株当たり四半期純利益は65円98銭（前年同期53円68銭）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億83百万円増加の162億75百万円となりました。流動資産においては、主に売掛金の増加1億26百万円等に対し、現金及び預金の減少4億44百万円及びその他の減少67百万円等により、前連結会計年度末に比べ3億73百万円減少の31億2百万円となりました。固定資産においては、有形固定資産のその他の増加3億16百万円、投資その他の資産のその他の増加2億93百万円及び建物の増加58百万円等に対し、敷金及び保証金の減少8百万円等により、前連結会計年度末に比べ6億56百万円増加の131億72百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ19百万円減少の78億86百万円となりました。流動負債においては、主にその他の増加2億14百万円及び買掛金の増加78百万円に対し、賞与引当金の減少46百万円及び1年内返済予定の長期借入金の減少18百万円等により、前連結会計年度末に比べ2億25百万円増加の44億60百万円となりました。固定負債においては、その他の増加61百万円等に対し、長期借入金の減少3億11百万円により、前連結会計年度末に比べ2億44百万円減少の34億26百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億3百万円増加の83億88百万円となりました。これは主に、利益剰余金2億91百万円の増加によるものです。この結果、自己資本比率は51.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年11月5日の「平成26年9月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,865,243	1,421,189
売掛金	217,905	344,780
商品及び製品	961,639	969,456
原材料及び貯蔵品	3,944	7,920
その他	428,763	360,982
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	3,475,996	3,102,829
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,744,005	3,802,839
土地	5,672,860	5,669,137
その他（純額）	787,723	1,104,254
有形固定資産合計	10,204,589	10,576,231
無形固定資産		
その他	14,512	14,512
無形固定資産合計	14,512	14,512
投資その他の資産		
敷金及び保証金	917,263	909,166
その他	1,379,215	1,672,595
投資その他の資産合計	2,296,479	2,581,761
固定資産合計	12,515,580	13,172,505
資産合計	15,991,577	16,275,335
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,057,365	2,136,196
1年内返済予定の長期借入金	641,214	622,464
未払法人税等	224,452	222,124
賞与引当金	136,857	90,415
その他	1,174,932	1,388,964
流動負債合計	4,234,822	4,460,164
固定負債		
長期借入金	1,977,377	1,666,145
役員退職慰労引当金	191,076	192,109
退職給付に係る負債	525,826	529,310
資産除去債務	15,775	15,876
その他	961,418	1,023,336
固定負債合計	3,671,473	3,426,777
負債合計	7,906,296	7,886,942

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,253	1,639,253
資本剰余金	1,566,100	1,566,100
利益剰余金	4,870,109	5,161,364
自己株式	△2,857	△2,857
株主資本合計	8,072,605	8,363,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,675	24,533
その他の包括利益累計額合計	12,675	24,533
純資産合計	8,085,281	8,388,393
負債純資産合計	15,991,577	16,275,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	17,280,361	17,914,346
売上原価	13,181,490	13,610,571
売上総利益	4,098,870	4,303,775
営業収入	249,962	263,617
営業総利益	4,348,832	4,567,392
販売費及び一般管理費	3,854,233	3,939,654
営業利益	494,599	627,738
営業外収益		
受取利息	6,508	6,356
受取配当金	3,189	199
その他	3,883	4,089
営業外収益合計	13,582	10,645
営業外費用		
支払利息	24,364	19,016
その他	1,174	472
営業外費用合計	25,538	19,489
経常利益	482,642	618,893
特別利益		
固定資産売却益	7,339	—
国庫補助金	10,870	—
特別利益合計	18,209	—
特別損失		
固定資産除却損	—	7,200
減損損失	—	4,845
固定資産圧縮損	10,870	—
特別損失合計	10,870	12,045
税金等調整前四半期純利益	489,981	606,847
法人税、住民税及び事業税	144,797	200,123
法人税等調整額	38,490	29,769
法人税等合計	183,287	229,892
少数株主損益調整前四半期純利益	306,694	376,955
四半期純利益	306,694	376,955

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	306,694	376,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,214	11,857
その他の包括利益合計	△1,214	11,857
四半期包括利益	305,479	388,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305,479	388,812
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	489,981	606,847
減価償却費	268,548	267,406
減損損失	—	4,845
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△50,420	△46,442
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,881	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	3,483
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,782	1,033
受取利息及び受取配当金	△9,698	△6,555
支払利息	24,364	19,016
有形固定資産売却損益 (△は益)	△7,339	—
固定資産除却損	—	7,200
固定資産圧縮損	10,870	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△76,020	△126,874
国庫補助金	△10,870	—
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△115,653	△11,793
その他の資産の増減額 (△は増加)	30,052	49,902
仕入債務の増減額 (△は減少)	270,227	78,830
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△32,406	△25,342
その他の負債の増減額 (△は減少)	5,144	239,480
小計	809,444	1,061,038
利息及び配当金の受取額	3,377	387
利息の支払額	△23,873	△18,666
法人税等の支払額	△202,733	△201,462
営業活動によるキャッシュ・フロー	586,214	841,296
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,601	△12,600
定期預金の払戻による収入	200,000	486,000
有形固定資産の取得による支出	△173,415	△457,678
有形固定資産の売却による収入	243,624	—
国庫補助金による収入	10,870	—
投資有価証券の売却による収入	50,000	—
建設協力金の支払による支出	△269,598	△319,600
建設協力金の回収による収入	34,071	35,140
敷金及び保証金の差入による支出	△243,934	△60
敷金及び保証金の回収による収入	3,347	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△157,635	△268,798
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△406,410	△329,982
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30,000	—
リース債務の返済による支出	△115,476	△127,542
自己株式の取得による支出	△24	—
配当金の支払額	△96,935	△85,628
財務活動によるキャッシュ・フロー	△648,847	△543,152
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△220,267	29,345
現金及び現金同等物の期首残高	1,384,683	1,326,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,164,415	1,355,791

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループ（当社及び連結子会社）は、食料品主体のスーパーマーケット事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。